

共 同 研 究 申 込 書
(新 規 ・ 継 続 ・ 一 部 変 更)

年 月 日

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
理事長 荒井 秀典 殿

依頼者

住 所 _____

氏 名 _____ (印)

(団体又は法人の名称及び代表者職氏名)

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター共同研究実施細則第 2 条の規定に基づき、下記のとおり研究を行いたく申し込みます。

記

1. 研究の課題：

2. 研究の目的：

3. 研究の内容：

4. 研究実施予定期間：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日から〇〇〇〇年〇〇月〇〇日まで

5. 研究結果報告書の提出希望時期 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

6. 希望する研究担当者の所属、職名、氏名及びその理由
(理由については詳細に記入すること。)：

所属： _____

職名： _____

氏名： _____

理由： _____

7. 共同研究として申し込む理由（受託研究と出来ない理由）：

8. 試料提供・機器の貸し出し等の有無

(1) ①センターから依頼者への提供： 有 ・ 無
②試料提供等の概要（試料提供等が「有」の場合のみ記載）：

(2) ①依頼者からセンターへの提供： 有 ・ 無
②試料提供等の概要（試料提供等が「有」の場合のみ記載）：

なお、民間機関等の経費において購入した物品をセンター内に持ち込む場合は、その品目・数量等を明確にした書式を提出すること（様式2に準じた書式にて作成

9. 研究に要する経費： _____ 円

内訳

当方 _____ 円

(うちセンターに納入する額 _____ 円)

センター _____ 円

10. その他

※ センター研究代表者記載欄

※ 認定臨床研究審査委員会への申請を行う臨床研究については、1、2、3-1及び4について、それ以外の研究については、1、3及び4について回答してください。

1. 臨床研究法（平成29年法律第16号）に定める特定臨床研究に該当するか。

- ☐ 該当
☐ 非該当

2. 認定臨床研究審査委員会での審査状況について記載してください。

認定臨床研究審査委員会設置機関（ ）

- ☐ 申請予定（申請予定時期： ）
☐ 申請中（審査予定時期： ）
☐ 承認済み（承認番号： ）

※認定臨床研究審査委員会設置機関には、申請を行った機関名を記載すること。

3-1. 利益相反について

- ☐ 倫理・利益相反委員会に申請予定（申請予定時期： ）
☐ 倫理・利益相反委員会に申請中（審査予定時期： ）
☐ 倫理・利益相反委員会にて承認済み（承認番号： ）
☐ 倫理審査を要する研究内容が含まれないため、共同研究審査委員会にて利益相反に係る審査の実施を希望する（様式2の当センターの研究組織に掲げる職員全員分の倫理・利益相反委員会の様式1-4を添付し、利益相反に関する研究代表者の利益相反規程の誓約について以下に記載してください）

[]

3-2. 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に該当する内容が含まれるか。

- ☐ 含まれる
⇒倫理・利益相反委員会の審査状況
☐ 申請予定（申請予定時期： ）
☐ 申請中（審査予定時期： ）
☐ 承認済み（承認番号： ）
⇒他施設での倫理委員会の審査状況（多施設共同研究の場合）
☐ 申請予定（申請予定時期： ）
☐ 申請中（審査予定時期： ）
☐ 承認済み（承認番号： ）
☐ 含まれない

4. 他の委員会審査等が必要な研究内容が含まれているか。

○動物実験が含まれるか

- ☐ 含まれる
⇒動物実験倫理委員会の審査状況
☐ 申請予定（申請予定時期： ）
☐ 申請中（審査予定時期： ）
☐ 承認済み（承認番号： ）
☐ 含まれない

○遺伝子組換え実験が含まれるか

- ☐ 含まれる
⇒遺伝子組換え実験安全委員会の審査状況
☐ 申請予定（申請予定時期： ）
☐ 申請中（審査予定時期： ）
☐ 承認済み（承認番号： ）
☐ 含まれない

○その他の委員会審査等が必要な内容が含まれるか

（該当する場合のみ、委員会名・審査の状況等を記載）

○上記のいずれにも該当しない（上記に該当しないことがわかるように、実施する実験区分を記載する。例：遺伝子組換えを伴わない微生物実験のみ、連結不可能匿名化情報の解析のみ等）

共 同 研 究 実 施 計 画 書

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
理事長 荒井 秀典 殿

依頼者（研究代表者）

所属：

職名：

氏名：

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター（研究代表者）

所属：

職名：

氏名：

研究課題					
研究の概要等					
研究組織	国立長寿医療研究センター	氏 名	所属部署・職 名	役 割 分 担	研究実施場所
	（外部機関名）	氏 名	所属部署・職 名	役 割 分 担	研究実施場所

※研究の概要等欄に記載不能な場合は別紙記載も可とする。

区分	経費区分	品目等	金額（円）	備考
甲	備品費 消耗品費 旅費 人件費・謝金 その他 (小計)			
	乙から納入される研究費 (内訳) 備品費 消耗品費 旅費 人件費・謝金 その他 間接経費(上記経費の 合算額の11%) (小計)			
乙	備品費 消耗品費 旅費 人件費・謝金 その他 (小計)			
合計				

甲：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 乙：〇〇株式会社

国立長寿医療研究センターが負担する研究経費の出所		
事業名		
出資元(委託機関)		
課題名		
総額		

外部機関等より国立長寿医療研究センター内に機器を持ち込む際は、下記について記載すること。

機器の種類（品名・型式）	数 量	設 置 場 所

共同研究に伴う研究員（受入）名簿

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
理事長 荒井 秀典 殿

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター（研究代表者）

所 属 _____
職 名 _____
氏 名 _____

研究者 氏 名		(年齢)	歳	男・女	専門分野	
勤務先				(職名又は地位)		
現住所						
センターにおける 在 所 部 署						
期 間	年 月 日～ 年 月 日 毎日（土日祝祭日を除く）・週 日（ 月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 ・ 不定期 ）					
研究 課 題 等						
共 同 研究者	(担当者)			(指導者)		
研究場所						
推 薦 理 由						
そ の 他	添付参考資料（別紙添付） 1. 履歴書 2. 学位授与証明書等 3. 刊行物発表関連資料					

共同研究申込書記載要領

1. この用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。

2. 様式1：共同研究申込書

(1) 表題

新規、継続、一部変更のいずれかに○をすること。

(2) 依頼者

「依頼者」欄には、共同研究を申し込もうとする団体又は法人の名称及び代表者職名を記入の上、社印及び代表者の職印を押印すること。

(3) 研究課題

申し込もうとする「研究課題名」を記載すること。また様式2の研究課題名とも一致させること。

(4) 研究目的

共同研究を申し込もうとする目的を具体的に記載すること。記入欄に記載しきれない場合は、別紙記載でも差し支えない。

(5) 研究内容

共同研究を申し込もうとする研究内容を、依頼者側が行う内容と国立研究開発法人国立長寿医療研究センター研究者に期待する役割について記載すること。記入欄に記載しきれない場合は、別紙記載でも差し支えない。また、研究期間が複数年にわたる場合は、ロードマップを図示すること。

(6) 研究実施予定期間

研究実施予定期間については、共同研究を行おうとする全体期間を記載すること。なお、（年計画の 年目）の欄については、年度毎に契約を締結する場合に記載することとし、複数年契約を締結する場合は記載不要であること。

(7) 研究結果報告

研究結果報告書の提出時期は当該年度における研究を完了した日から起算して1箇月を経過した日、又は研究の終了した年度の1ヶ月以内の日とすること。

(8) 希望する研究担当者

共同研究を希望する所属、職名、氏名及びその研究者を希望する理由を詳細に記載すること。なお、希望する研究者が複数の場合は、代表者を記載すること。

(9) 共同研究として申し込む理由

記載欄には共同研究として申し込む理由及び受託研究とならない理由を明確に簡略して記載すること。

(10) 研究に要する経費

共同研究を行う際に必要な経費とその分担について記載すること。

国立研究開発法人国立長寿医療研究センターへの研究費の納入がある場合は、様式2の「乙から納入される研究費」の欄に所要額を計上すること。なお、国立研究開発法人国立長寿医療研究センターへの研究費の納入は、必須ではないこと。

増額に係る一部変更申請の場合、その増額した研究経費をいつからいつまで使用するのか分かるように記載すること。また、増額分がいくらか分かるように記載すること。

(11) その他

その他、特記すべき事項があれば記載すること。また、一部変更申請の場合は、変更理由及び変更内容について、記載すること。

(12) ※センター研究代表者記載欄〔利益相反について〕4.の〔〕内の記載文

「当センターの利益相反対処方針に従い利益相反行為防止規則を遵守し、適正に本研究を実施する。」という文が望ましい。

3. 様式2：共同研究実施計画書

実施計画書の記入については、国立研究開発法人国立長寿医療研究センター側の研究代表者ならびに外部機関側の研究代表者が協力して記載すること。研究の概要等の欄に記載しきれない場合は、別紙記載でも差し支えない。

(1) 依頼者(研究代表者)

依頼者(研究代表者)の欄は乙の研究組織の外部機関名の一番上に書いてある氏名を記載すること。

(2) 経費内訳

共同研究を行う際の分担に基づき、経費の内訳を記載すること。また、人件費及び旅費については、具体的な積算根拠についても記載すること。

なお、国立研究開発法人国立長寿医療研究センター内に機器を持ち込む際には、機器の種類、数量、設置場所を記載すること。

4. 様式3：共同研究に伴う研究員（受入）名簿

外部機関の共同研究者を何らかの理由により受入れをしなければならないときには様式3（共同研究に伴う研究員（受入）名簿）に記載の上、添付書類と併せて提出すること。

5. 様式5：共同研究結果報告書

(1) 研究成果に関する論文研究発表等

研究成果に関する論文研究発表等の欄に知財があれば記載すること。

(2) その他（中止、継続の場合はその事由等）

中止、継続の場合はその事由等を詳しく書くこと。

例えば中止になった場合は、本来の研究期間を書き、資金が足りないので何月をもって中止するということが分かるように記載すること。

6. 継続申請をする時は新規申請と同様の書類を提出すること。(COI, 会社概要等)